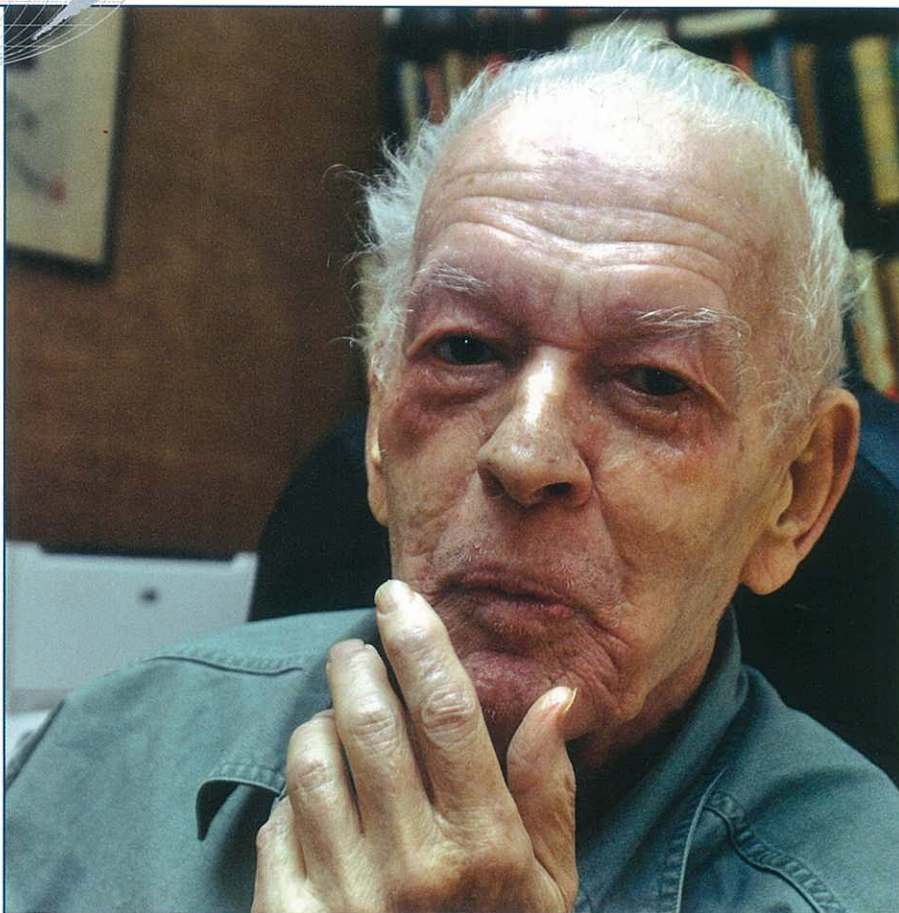
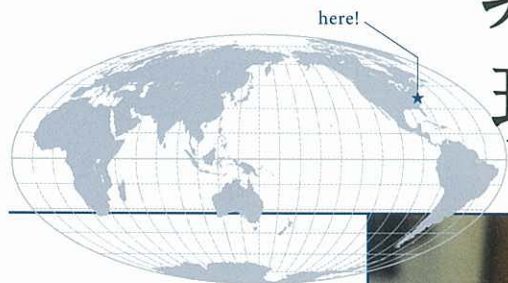


世界に平和を生み出す研究

非暴力抵抗運動が 現代社会を動かす



ジーン・シャープ

Gene Sharp

【政治学者】

USA ● ボストン

取材／構成／撮影◎大野和基 Kazumoto Ohno

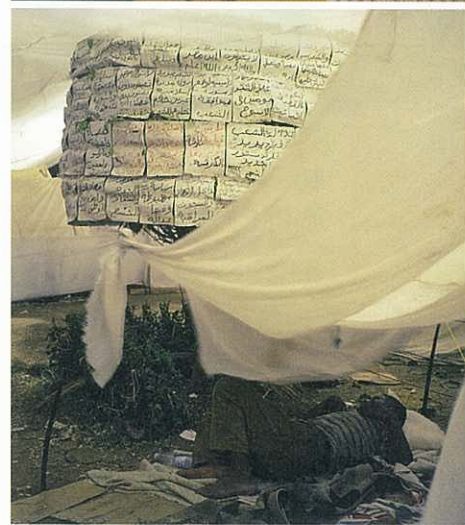
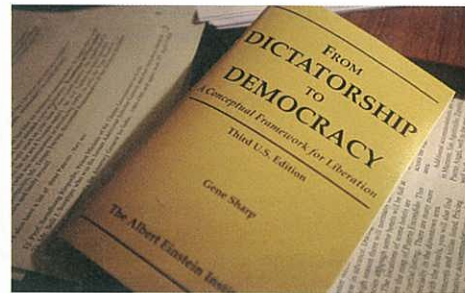
昨年从中東で連鎖的に起きた民主化運動。仕事がない若者たちによるウォールストリートの占拠など、世界各地で起きた反政府運動を理論的に支えたといわれるのが氏が執筆した小冊子『独裁体制から民主主義へ』だ。長年の研究により、独裁政権を倒すには、暴力ではなく、戦略的な「非暴力抵抗運動」こそが有効だと示した。34カ国語にも訳されたこの冊子はどのように執筆されたのか。

非暴力抵抗運動の父

AW 政治学者であるあなたは「非暴力抵抗運動の父」「革命家の最高の友」などと呼ばれています。あなたの活動について教えてください。

シャープ 私が長年取り組んできたのは「非暴力抵抗」と「闘争」との違いについての調査研究です。「非暴力抵抗」は世界のさまざまな場面で役立つ可能性がありますが、「暴力」も、抵抗せずには権力を受け入れる「無抵抗」も、平和を生み出すことはできません。**AW** これまで11冊の本を上梓していますが、中でも1993年に出版した小冊子『独裁体制から民主主義へ』（瀧口範子訳、ちくま学芸文庫 *From Dictatorship to Democracy*）は、2011年1月のエジプト革命で反政府運動活動家に読まれ、トレーニングのためのワークショップで使われたと聞いています。ジンバブエやエストニア、リトアニアの運動家が利用した、あるいは、ウォールストリート占拠を理論的に支えたともいわれていますね。

シャープ 私もそう聞いていますが、実際にはこの本が使われた証拠はありません。ただ、非暴力抵抗運動という点からエジプト革命を見ると、完全な非暴力ではあり



(上)『独裁体制から民主主義へ(From Dictatorship to Democracy)』は、少なくとも34カ国語に翻訳された。(下)2011年1月のエジプト革命では、氏が訴える非暴力抵抗運動が行われた(写真下: Agence VU/ アフロ)

シャープ それはあまり役に立ちません。それよりも、孤立させるのです。独裁者は一見強いように見えますが、権力を取り去ってしまえば、誰も注目しなくなり、そうなればただの人です。ですから、独裁者から権力を取り去ることが重要です。

ませんでした。可能な限りそうあろうとしていました。統率が取れた良いスタートを切ったと思います。銃を持たず、爆弾を投げないで反政府行動を取るのには勇気の要ることです。しかし、非暴力抵抗運動では、それこそが重要なポイントです。

また、市民が「恐怖心」を持たなかったことも大きなことでした。独裁政権は警察、軍隊などを使い、市民の恐怖心を煽って操ろうとする。だが、恐怖心を持たない市民を思い通りにすることはできないからです。

AW 政府が暴力で抑え込もうとした場合、なぜ、非暴力で対抗できるのでしょうか。

シャープ 政府は軍隊や警察などを持つ。つまり、国内のどの組織よりも暴力的能力を持っています。市民は、政府に暴力で対抗しようとしても必ず負けるのです。

独裁政権と民主化勢力の「交渉」でも平和が生まれるとは考えにくい。こうした「交渉」は、相互の意見や目的を照らし合わせ、公正に行われるわけではありません。独裁者は反体制派から服従を引き出そうとします。根源的な問題に対し、双方の力関係に変化をもたらすものは、交渉ではなく、抵抗です。

非暴力抵抗運動は、民衆や社会機関が参加する、心理的、社会的、経済的、政治的な闘いです。抗議行動、ストライキ、非服従、ボイコットなどにより、政府の暴力的な力の源を断つのです。勇敢に執拗に非暴力抵抗を維持し続けると、相手はバランスを失います。私はそれを「政治的柔術」と呼んでいます。

AW アメリカは独裁者を暗殺することを好みますが、暗殺についてはどう思われますか。

非暴力抵抗運動の遂行には、綿密な計画が重要です。無計画であってはなりません。これまで、独裁体制に対する政治的抵抗は偶発的に起きました。しかし、独裁体制を倒すために、戦略的に組織的な運動を選ぶことは可能です。それによって独裁政権を弱体化させることができます。

AW とところで『独裁体制から民主主義へ』は、ミャンマーからタイに亡命した運動家からの依頼で執筆したそうですね。

シャープ ええ、ミャンマーからタイに亡命した元外交官で、ミャンマーの民主化を求める『新時代ジャーナル』という雑誌の編集長からの依頼でした。私はそれまでの非暴力抵抗運動の研究を基に、独裁体制を打ち倒すための運動の方法について書き、それがバンクで小冊子の形で出版されました。

た。ミャンマーの民主主義を求める活動家や、中央政府からの独立を願う少数民族のグループが利用することを念頭に書きましたが、ミャンマーの現状に詳しいわけはありませんでしたので、内容は一般的なものになりました。

後で知りましたが、軍事政権下のミャンマーでは、アウン・サン・スー・チーさんが軟禁状態から解放された2010年11月まで、この本を持っているのが見つかるかと7年の禁固刑が言い渡されたそうです。この本は、現在、少なくとも34カ国語に翻訳されています。

AW スー・チーさんが、この時期に釈放されると予想していたのですか。

シャープ まったく想像していませんでした。彼女の釈放について、今では肯定的に考えていますが、当初は策略ではないかと疑いました。ミャンマーの軍指導部は巧妙で、民主化が進んでいると見せかけるために、そうしたことをやりかねません。今でも軍が実権を握っている可能性はあると考えています。

ガンジーの研究書

AW あなた自身はどのような子どもだったのでしょうか。



政府は国内のどの組織よりも
暴力的能力を持っています。
市民は暴力で対抗しても必ず負けます。

シャープ 父は牧師でした。両親の教育により、小さいころから本をたくさん読んで育ちました。小説も読みましたが、ノンフィクションが中心で、分野はさまざまでした。

子どものころから好奇心が旺盛で、質問ばかりしていましたね。

AW 「非暴力抵抗」にはいつごろから関心を持ち始めたのでしょうか。

シャープ 1950年ごろです。当時はナチス・ドイツが終焉を迎え、スターリン体制はまだ主導権を握っていました。ヨーロッパの植民地主義、原子爆弾の投下、そして最後には水素爆弾の実験と歴史的に多くの出来事が起こり、私は強く影響を受けました。

当時、非暴力抵抗でインドを独立に導いた政治家マハトマ・ガンジーは、世界的に名前が知られていましたが、彼の幼少時代についてはあまり知りませんでした。

私はオハイオ州立大学卒業後、工場労働などさまざまな職業に就きながら、ニューヨーク市立図書館に通い、ガンジーの研究書を書き進めました。アメリカは既に朝鮮戦争に参戦していました。私は非暴力抵抗運動の立場から朝鮮戦争への徴兵を拒み、53年に逮捕されました。9カ月間と10日、収監されました。25歳でした。出所後、ロン

ドンに移り住み、平和主義の雑誌の編集に携わりました。続いてノルウェーの首都オスロで社会研究所に入り、哲学者で世界的なエロジストであり、ガンジー研究書の共著を持つアルネ・ネスの下で非暴力抵抗運動の研究に没頭しました。さらにオックスフォード大学の政治学の博士課程で研究を続けました。

その結果、独裁体制は民衆が従わなければ根源的な力を失うという確信を得るに至りました。だからこそ、非暴力闘争は有効であるという結論に達したのです。

AW この小冊子には1988の非暴力行動の方法が書かれています。本の執筆から20年近くたっていますが、今でも有効ですね。

シャープ ええ。非暴力抵抗運動についての事例の収集には本当に長い時間をかけましたから。

AW この数十年間に、アリストテレスから全体主義まで独裁体制の歴史を研究し、ナチス時代に苦汁をなめた人たちと会い、パナマ、ポーランド、チリ、ミャンマーなどの独裁体制下に生きる人々を訪ね歩いたと聞いています。天安門事件が起きた時には、北京にいたのですね。

シャープ そうです。しかし、情報収集は十分にできたのですが、それを土台に思考を組み立てるこ

とは大変な作業でした。私の最も核心的な問いは「統治する権力を政府に与えるものは何か」ということでした。

今はあまり資金はなく、この小さなアインシュタイン研究所でやっていますが、小冊子を執筆した93年当時は資金があり、フルタイムのアシスタントも2人いましたから、恵まれていました。他のことは一切しないで4カ月で書き上げましたが、多くの読者を獲得でき、良い決断だったと思います。

戦略的に弱点を探る

AW 最近中東が市民革命により、民主主義国家になりつつありますが、独裁国家はいずれ民主主義国家になるのでしょうか。

シャープ 長期的には、民主化が達成されていくと思います。クーデターが起きる場合もあれば、草の根運動で達成する場合もあります。いずれにせよ途中はいばらの道です。

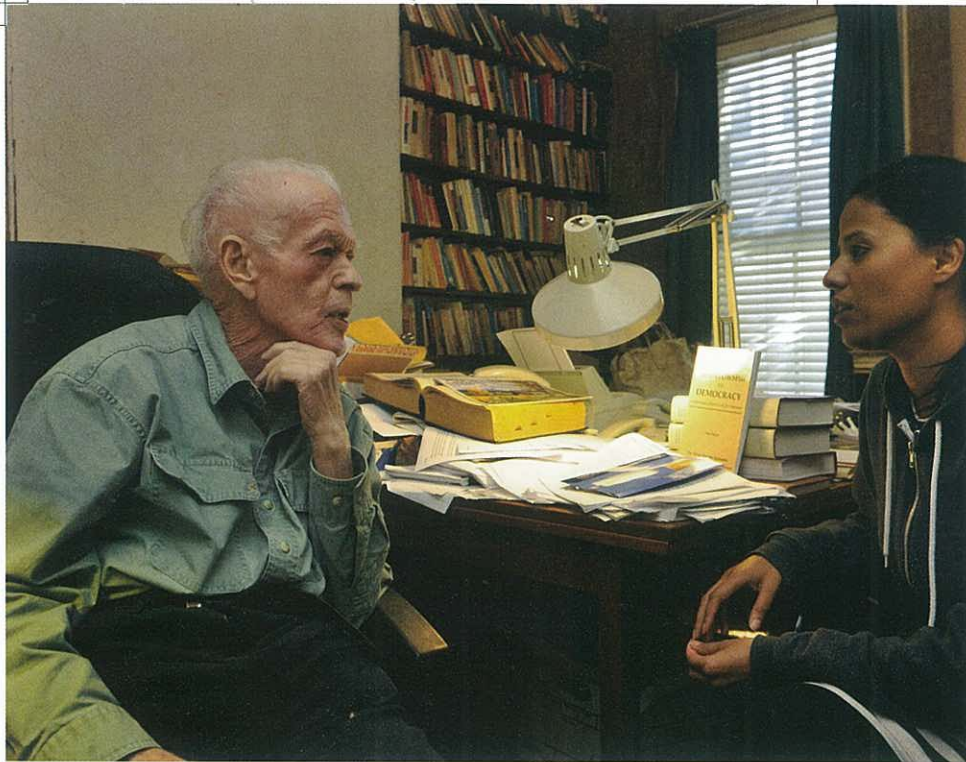
極端な独裁主義には弱点があります。その弱点の幾つかは、ドイツ系アメリカ人の政治学者であるカール・ドイッチェ氏から学びました。彼はその弱点をモノリス(monolith、一枚岩)にできた割れ目と言いました。モノリスとは独裁主義のシステムのことを指し



(右) キング牧師の肖像画の前で、妻のコレット・スコット・キングと。夫が銃弾に倒れた後、非暴力抵抗運動や人種差別撤廃、貧困層救済などを指導した。(左) 氏の著書が並ぶ本棚

ます。長い目で見ると、その割れ目が独裁主義の効率を悪くさせます。市民たちは、そこに自分の組織を発展させるチャンスを見つけていることができます。そのためには十分に戦略を練る必要がありますが。

AW いったん弱点がわかれば、それからどうするのでしょうか。
シャープ 我慢強く、慎重に破壊



Profile

ジョン・シャープ

1928年、アメリカ・オハイオ州に、牧師の息子として生まれる。オハイオ州立大学卒業後、オックスフォード大学で政治理論の博士号を取得。ハーバード大学国際関係センターで30年以上過ごした後、ボストン市内にアルバート・アインシュタイン研究所を設立。『独裁体制から民主主義へ (From Dictatorship to Democracy)』は、各国の民主化に影響を与えているとされる。ノーベル平和賞にもノミネートされた。(写真は秘書兼リサーチ・アシスタントと語る氏)

独裁体制は民衆が従わなければ 根源的な力を失うという 確信を得るに至りました。

していきます。しかし、常に慎重
なわけではありません。ぐっと一
気に押さなければならぬ時もあり
ます。また少し戻ってリラック
スしなければならぬ時もありま
す。体制が弱体化し始める前に押
し過ぎてはいけません。少し弱く
なった時にぐっと押すのです。
ほとんどの場合、一夜にして変
化するというより、徐々に変わ
ります。

AW 全体的に見ると、独裁主義
から民主主義に向かっていよう
に見えますが、時にはその逆の流
れ、つまり民主主義国家から独裁
主義に移行する場合もあります
ね。そういう時はどうしたらいい
のでしょうか。
シャープ 状況を分析しなければ
なりません。移行しつつある時に
何が強く、弱点はどこにあるか。
一般国民は強くなっているのか、

弱くなっているのか。それを把握
して戦略を立てなければなりません。
細かく具体的に。フレキシブル
に余裕を持たせて、運動のプラ
ンを立てなければなりません。時
には、政府内部の情報的強者を採
用する必要があります。彼らはおびえ
ていることが多いですが、役に立
ちます。
AW 近年、民主主義国家を目指
す闘争が大規模に起きましたが、

なぜでしょうか。
シャープ 突然起きたような印象
を持ちますが、これまでに起きて
いた、ニュースにならない些細な
ことが、可能にしたのです。例え
ばポーランドは、10年間の非暴力
運動の末に共産党政府を打倒しま
した。ラトビア、エストニア、リ
トアニアも民主化は不可能と思わ
れていましたが、見事に達成しま
した。

AW この研究所は、ボストンの
労働者階級が住む、目立たない地
域にありますが、世界中からさま
ざまな人があなたのアドバイスを
求めて訪ねて来るのですね。
シャープ 中東からも何人かが訪
問しましたが、私は彼らに何をす
るべきかは言いません。自分自身
で戦略を立てることができるよう
に手伝うだけです。私が戦略を立
てるべきではありません。彼ら自
身の戦いからです。

AW 平和とは何なのでしょう。
シャープ 平和を戦争がない状態
と思っている人もいるかもしれま
せんが、違います。また、ある政
権の崩壊がすぐにユートピアにつ
ながるわけでもありません。そこ
から、公正な社会的、経済的、政
治的な関係性を築き、不正行為や
抑圧をなくすための重く長い努力
が必要です。平和とは自分たちが
築き上げていくものです。